

きょうから大学共通テスト

青森県内全域、雪に注意



設置した案内看板の最終確認を行う担当者
12日、八戸学院大

大学入学共通テストが13、14の2日間、全国一斉に行われる。青森県内では、八戸工業大や八戸学院大など8会場で計4121人が受験し、志望校合格に向けた最初の関門に挑む。

同テストは2021年から実施。25年1月から教科・科目が再編されるため、現在の6教科30科目で実施する最後の試験となる。両日とも午前9時半開始。初日は地理歴史と公民、国語、

外国語を行う。テストを翌日に控えた12日、八戸学院大では担当者が試験会場設置の最終確認を行った。同大学務部学務課の村本景課長は「新型コロナウイルスが5類に移行して初のテストになる。マスク着用などの義務はなくなったが、体調管理を万全にして臨んでほしい」と話していた。

一方、青森地方気象台によると、13日の県内は気圧

の谷により、全域で雪が降る見込み。同気象台は「交通機関への影響が考えられるので注意してほしい」と呼びかけている。

（藤村大地）